

関西大学第一高等学校・第一中学校
2025年度学校評価報告書



2026年3月

目 次

1	本校の概要	1
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
3	アンケートの実施状況について	8
4	アンケート結果の分析	9
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	16
6	校長の意見書	20
7	アンケート結果	21

1 本校の概要

(1) 沿革

大正元年 8 月	文部省告示を以て社団法人関西大学附属「私立関西甲種商業学校」設立認可
大正 2 年 4 月	本科 3 年制として開校
大正 13 年 4 月	「関西大学第二商業高校」設置認可、開校
昭和 4 年 9 月	天六新学舎が竣成し、従前の福島学舎から移転
昭和 19 年 3 月	第二商業高校、戦時学制改革により廃校
昭和 22 年 4 月	学制改革により関西甲種商業学校在学の 1・2・3 年をもって「関西大学第一中学校」を開校
昭和 23 年 4 月	学制改革により「関西大学附属第一高等学校」を開校
昭和 24 年 3 月	関西甲種商業学校第 34 回（有終）卒業式挙行
昭和 25 年 12 月	旧千里山遊園地を買収、以後関西大学外苑と呼称
昭和 27 年 9 月	校名を「関西大学第一高等学校」と呼称
昭和 28 年 11 月	関西大学外苑高台に関西大学第一高等学校新校舎落成、天六学舎より移転
昭和 30 年 3 月	関西大学第一高等学校 第 7 回卒業式をもって、夜間課程を廃止
昭和 32 年 11 月	関西大学第一高等学校 校舎増築、中学校新校舎工事の落成式を挙行
昭和 36 年 11 月	関西大学第一高等学校 創立 50 周年記念式典挙行
昭和 52 年 11 月	関西大学第一高等学校 創立 30 周年（新制）記念式典挙行
昭和 56 年 3 月	関西大学第一高等学校 新校舎落成
平成 7 年 4 月	関西大学第一中学校 共学化
平成 10 年 3 月	関西大学第一中学校 新校舎落成
平成 10 年 4 月	関西大学第一高等学校 共学化
平成 11 年 2 月	関西大学第一高等学校・第一中学校 体育館兼講堂 秀麗館落成
平成 16 年 1 月	関西大学親和館落成
平成 25 年 8 月	関西大学第一高等学校・第一中学校 温水プール落成
平成 25 年 11 月	関西大学第一高等学校 創立 100 周年記念式典挙行 一高一中校舎リニューアル 正門整備 ICT 教育設備完成
平成 27 年 2 月	関西大学第一高等学校グラウンド人工芝改修
平成 27 年 9 月	関西大学第一中学校職員室改装
平成 28 年 3 月	関西大学第一中学校 1 号館会議室改装
令和 5 年 12 月	関西大学第一高等学校・第一中学校 新校舎景風館落成
令和 8 年 4 月	関西大学第一高等学校 新校舎黎明館落成

(2) 建学の精神、教育理念・教育方針・教育目標等

第一高等学校・第一中学校は「関西大学の併設校として、関西大学の建学の精神を受け継ぎ、真理に立脚した正義と近代市民の生活に根ざした自由かつ進取な気風を標榜して、心豊かな、有為な人材を育てることを根本に据える」という教育理念のもと、次のような教育方針並びに教育目標を掲げ、さらなる向上と充実に向けて、学校教育計画を策定している。

教育方針「正義を重んじ誠実をつらぬく」

- ① 青少年が内に蔵する無限の可能性を尊重し、これを啓発する。
- ② 生徒自身の真の幸福を追求する。
- ③ 進取の気性を養い、規律を重んじ、協同の自治と精神を育成する。

教育目標「知育・徳育・体育の高度に調和した人間教育」

- ① 将来につながる基礎的知識を確実に身につける。
- ② 集団の中における自己の責任を自覚し、豊かな人間性を育てる。
- ③ 自己の健康に留意し、体力の向上をはかる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎学力ならびに幅広い教養を身につける。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 成績不振生徒に対してフォローを行い、基礎学力の向上を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <p><高校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校1・2年は年間4回の補習と成績下位者対象の補習、高校3年は独自テストや大学入学共通テストの補習を適宜実施する。 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の結果を踏まえ、5教科を中心に4時間の補習を2、3学期期末考査前に実施する。 	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>(高校)</p> <p>既定の補習に加え、授業時の小テスト等で点数が下位の生徒に対して一定の点数が取れるまで複数回、補習を行った。</p> <p>(中学校)</p> <p>5教科を中心に、既定の補習時間を確保し実施した。</p> <hr/> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>高校(◎)</p> <p>5教科を中心に補習を実施した。</p> <p>中学校(◎)</p> <p>5教科を中心に補習を実施した。加えて、他の教科についても必要に応じて補習を実施した。</p> <hr/> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>(高校)</p> <p>補習の回数や時間について効果の検証を行い、より効果のある補習の実施を検討する。またオンデマンド等の教材を利用できないか検討する。</p> <p>(中学校)</p> <p>定期考査への補習の回数・時期などを検証する。また、基礎学</p>

	<p>力の充実を目指す補習、応用力を養う補習、授業内容に関する質問、課題の質問に答えるなど、より効果のある補習を行うことを考えている。</p>
<p>イ タブレット端末を活用し、多様な生徒1人ひとりに個別最適化された、資質・能力が一層育成できる教育を実施する。</p> <p>【評価指標】 iPadなどの電子機器が授業の内容を理解するのに役立っているというアンケートで回答した生徒が75%以上いる。</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】 中学1年の6教室にApple TVを設置したことで、中学全学年の教室で、iPadの画面を教室のプロジェクタに投射できるようになった。 「調べ学習」が、より充実したものになるように日本経済新聞電子版を教員・生徒ともに利用できるように整備した。 教員においては、「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業展開を行えるようにした。 課題として中学1年の教室のwifiや高校2年・3年の一部の教室のwifiの接続が不安定になる事象が続発した。高校の教室でのHDMIによる接続不良が頻発した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎) アンケートでは、中学校・高校共に90%以上の生徒が電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると回答している。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】 今後も日常的に授業でタブレット端末を活用し、生徒一人ひとりの理解度に応じた授業を展開できるよう、機器とネットワークの環境整備、研修などを行っていく。</p>
<p>ウ 大学での学びに触れる機会を確保し、必要学力認識のきっかけとする。</p> <p>【評価指標】 ・各大学が実施するセミナー等に、より多くの生徒の参加を促す。</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】 昨年度に引き続き、高1・2年生全員が参加する形でのセミナー実施とした。また、高校2年のセミナー選択のフォーム上には昨年度選択したものは避ける旨を記載した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎) より多くの生徒が、学部選択に必要な情報にふれる機会を設けることができた。(高校1年368人・高校2年306人*高校2年は学級閉鎖あり)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】 今後は、学部選択の先にあるもの(具体的な職業等)にも目を向ける機会を作り、学部選択からより長いキャリアプランへとつながる方策を模索していく。</p>

(2) 重点目標②：豊かな人間性を育成する

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
<p>ア マナー、モラル向上のための指導を行い、規範意識を高める。</p> <p>【評価指標】</p> <p><高校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める集会を年間3回実施する。風紀委員会を学期に1回以上開き、風紀向上の啓発を行う。 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める集会を年間3回実施する。 	<p>【取組状況 (Do)】</p> <p>(高校)</p> <p>年間6回の全校集会でマナー、モラル向上のための指導を行った。また、適宜 HR や終礼をとおして注意喚起の呼びかけや指導を行った。</p> <p>(中学校)</p> <p>各学期の始業式や終業式、学年集会等を通じて社会のルールやモラル向上についての指導を行った。</p> <p>また、生徒会と風紀委員会が中心となり、7/7～7/14の始業前にあいさつ運動を実施した。</p> <p>【達成状況 (Check)】</p> <p>高校(○)</p> <p>一定の効果があつたと考えられるものの、年間を通して複数件のクレームや問い合わせを受けた。</p> <p>中学校(△)</p> <p>学内では学校施設の破損や学外では駅構内や電車内でのマナーに関する苦情があつた。施設の破損や苦情の報告があつた際には、その都度各クラスで注意喚起を行った。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】</p> <p>(高校)</p> <p>クレームを受けからの指導ではなく、日常的な啓発・指導を今後も継続していく。</p> <p>(中学校)</p> <p>これまで同様に集会で規範意識を高めるとともに、生徒会や委員会と連携してマナー、モラル向上の啓発に努める。</p>
<p>イ 生徒が安心、安全な学校生活を送れるように支援体制を整える。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象に防犯教室や熱中症対策講習会などの研修会を中高それぞれ2回ずつ実施する。教員対象に救急救命や学校でよく起きる事故についての研修会を2回以上実施する。 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の結果を踏まえ、保健室と連携を取りながら生徒に対して指導を行った。 ・生徒対象の講演会等は、4月に中1・高1へ防犯教室（警察署協力）と情報機器の使用上の注意喚起を行った。6月に高1対象の講演会「心の健康について考える（吹田市保健所協力）」、12月に中2対象の救急救命講習会（吹田市消防協力）、2月に高2対象の講演会「プレコンセプションケア（吹田市保健所協力）」を実施した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・教員対象の講演会については、5月に救急救命講習会、11月には「学校における災害時の事前・発生時・事後の対応について」をテーマに実施した。 ・「部活動における熱中症対策に対しての活動指針」を作成し、熱中症防止に努めた。 <p>【達成状況(Check)】 (◎) 予定通りに実施できた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】 熱中症対策マニュアルを作成する。</p>
<p>ウ 人権意識を育む。</p> <p>【評価指標】</p> <p><高校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権 HR を各学年、学期に1回以上実施する。 ・いじめに関するアンケートを年1回実施する。 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケートを年2回実施する。 ・人権講演会を各学年1回以上実施する。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>(高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権HRを、各学年、学期に1回以上実施した。 ・全学年で「いじめに関するアンケート」を実施した。 <p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケートで、本校のいじめの実態を把握するため、無回答の生徒を減らすよう、未回答生徒に声をかけ続け、10月の第2回アンケートでは、ほぼ全員の生徒から回答を得た。 ・いじめ防止の意識を高めるため、学校のいじめ問題に精通した弁護士と打ち合わせを重ね、新たな人権講演会「中学生のためのいじめ法律教室」を開催した。 <p>【達成状況(Check)】</p> <p>高校(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で人権HR（動画視聴による人権講演会含む）を学期に1回以上実施した。 ・全学年で「いじめに関するアンケート」を2学期に実施した <p>中学校(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケートを年2回実施した。 ・人権講演会を各学年で2回実施した。 <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>(高校)</p> <p>時代の変化や生徒の実情に応じたテーマや手法を通じて、生徒の人権意識を育み高めるための人権 HR を創意・工夫して行う。</p> <p>(中学校)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケートの回答期間（1週間）以内に、極力、全生徒からの回答を得られるよう、周知徹底に励む。 ・生徒の人権意識をより高めるために、人権講演会の新たなテーマ・講演形態・講師を検討し、実現する。
エ 各大学のセミナー等への参加を通して、挨拶や身だしなみのマナーを身につける。 【評価指標】 ・参加にあたり、マナーについての注意と振り返りをさせる。	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】 事前案内等、受講次のマナーに関する記載をし、生徒ならびに会場担当者へ事前に注意を促した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (△) 会場により、マナーに関する共有事項の徹底に差があった。特に、景風館プレゼンスペースでのマナー指導が不十分であった。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】 事前打ち合わせの際、マナー指導上の注意を入念に確認する場面を設け、本番に臨む。</p>

(3) 重点目標③：より良い授業を追求する

取組計画及び評価指標(Plan)	<p style="text-align: center;">自己評価</p>
ア 特別な教科道德の授業力の向上を図る。 【評価指標】 ・道德教育に関する授業力向上研修会に1回参加する。	<p>【取組状況(Do)】 校内での各種講演会及び校外での研修会に参加し、授業力向上に努めた。</p> <p>【達成状況(Check)】 (○) 本年度、モラロジー道德教育財団主催の「道德教育研究会」に参加した。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】 今後も継続して研修会に参加することで、本校で実施されている道德教育に助言を与えられるよう、道德教育に対する理解を深めていく。 また、全学年で実施している人権講演会も活用し、道德教育を実施していきたい。</p>
イ 教科ごとや教科を横断した研修会を実施する。 【評価指標】 ・年間1回以上の研修会を開催する。	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】 本年度は教員対象の研修会を4回実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎) 5月の救急救命講習会は、中学1年と高校1年の所属教員を対象に、実施された。</p>

	<p>6月の研修会では、人権教育部主催で、学校薬剤師・専門学校講師・NPO法人理事の川西寿美子先生をお招きし、「保護者との信頼関係を築くには～誰にとっても安心・安全な学校に～」というテーマで研修会を行った。</p> <p>11月の研修会では、心と体の健康部主催で、兵庫県教育委員会 震災・学校支援地チーム EARTH から2名の講師をお招きし、「学校における災害時の事前（備え）・発生時・事後（立て直し）の対応について」というテーマで研修会を行った。</p> <p>2月は「いじめ・人権侵害事象発生時の保護者対応と教員に必要な法的知識」について、弁護士の先生をお招きし、講演を実施する予定である。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>教員が参加しやすい時期に研修会を設定し、より多くの教員が参加できるように心がける。また、現状の問題点や課題に沿った研修内容が実施できるよう、各部と協議をしながら検討を行いたい。</p>
<p>ウ 防災教育のさらなる充実を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <p>・防火訓練と防災（地震）訓練を中学校、高校それぞれ1回ずつ行い、緊急時の行動を教員と生徒が理解できるようにする。本校防災マニュアルの見直しを図る。</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月に中学校・高校それぞれで、火災発生時を想定した訓練（消火・通報・避難）、11月には「大阪880万人訓練（地震）」に合わせた中高合同の訓練を実施した。訓練後には反省点を全教員で共有し、改善に努めた。 ・7月には、マンホールトイレの組立て練習を実施した。 ・災害時の備蓄品を再検討し、防災マニュアルの見直しを図った。 ・11月には「災害時の事前・発生時・事後の対応について」をテーマに教員研修会を開催し、教員の安全に対する意識や知識の向上に努めた。 <p>【達成状況(Check)】 (◎)</p> <p>予定通り防火訓練と防災訓練（地震）を1回ずつ実施し、防災マニュアルの見直しを図った。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>災害時の対応をスムーズにするため、防災対策を大学と連携して行う。</p>

(4) 重点目標④：学校と家庭の連携を強固にする

<p>取組計画及び評価指標 (Plan)</p>	<p>自己評価</p>
<p>ア 学校と家庭との連絡を密にする。</p> <p>【評価指標】</p> <p><高校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績懇談会を年間2回と個人懇談を適宜設ける。 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との懇談会を年間2回実施する 	<p>【取組状況 (Do)】</p> <p>(高校)</p> <p>既定の懇談会と個人懇談の実施に加えて、必要なお家庭とは複数回の個人懇談を実施した。</p> <p>(中学校)</p> <p>2回の懇談会を実施。</p> <p>【達成状況 (Check)】</p> <p>高校(◎)</p> <p>予定通り懇親会並びに個人懇談を実施した。</p> <p>中学校(◎)</p> <p>1学期・2学期ともに懇談会を実施し、年間を通じて2回の懇談会を実施することができた。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】</p> <p>(高校)</p> <p>オンラインツール等の活用も含めて、学校と家庭との連絡がより効果的になるよう検討を行う。</p> <p>(中学校)</p> <p>保護者とのコミュニケーションをより密にする。そのために日ごろから保護者と連携し、面談などを通じて生徒の支援を家庭・学校の両面で行うことを目指す。</p>
<p>イ ポータルサイトの活性化を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員、保護者対象アンケートで、ポータルサイトを活用しているという回答が75%以上。 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】</p> <p>保護者からの欠席・遅刻連絡や、学校から保護者への連絡のため、適宜サイトを活用した。</p> <p>【達成状況 (Check)】 (◎)</p> <p>高校・中学校ともに保護者の「欠席連絡やお知らせの配信など、保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われるか。」の問いに「あてはまる」、「ややあてはまる」と回答した割合は合計で90%を超え、保護者に十分認知され、活用されていると思われる。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】</p> <p>今後もポータルサイトが保護者にとって活用しやすいサイトになるよう心掛けていきたい。</p>

3 アンケートの実施状況について

今年度の「学校評価（自己評価）」は、「教員への自己点検・評価アンケート」とともに「生徒ア

ンケート」・「保護者アンケート」を中学校・高校の全生徒・全保護者に行い、Web上での回答を求めた。

評価項目については、昨年度の評価及び改善方法等を検討し、本年度の教育活動を点検した上で、10月28日の自己点検・学校評価委員会において決定した。

アンケートは12月2日に教員、生徒対象に配信し、その後12月5日に保護者に向けプリントを配布して協力を依頼した。「教員へのアンケート」の有効回答は65件（回収率71.4%）であった。

「生徒アンケート」は、高校の有効回答は947件（回収率80.6%）、中学校は598件（回収率84.3%）であった。「保護者アンケート」の有効回答は、高校625件（回答率53.2%）、中学校458件（回答率64.6%）であった。現在「学校評価（自己評価）」はWeb上での無記名のアンケートとして実施しているため、回答率を上げるための働きかけの工夫が求められる。

4 アンケート結果の分析

実施対象別のアンケート結果を基に以下のように分析した。

A:あてはまる、B:ややあてはまる、C:あまりあてはまらない、D:あてはまらない

(1) 学校全般

これまでのアンケートと同様に、今年度も在学生の多くが「充実した学校生活を送っている」様子が伺える（A・B合計 高校92.7%、中学校93.7%）。保護者の「この学校に入学させて良かった」の回答（A・B合計 高校保護者94.4%、中学校保護者91.7%）から、学校全般に対する満足度が高いことがわかる。これらは本校が関西大学の併設校であり、進学に大きな不安をもたずに6年間、あるいは3年間の学校生活を送ることができることが評価につながっていると考えられる。本校では学業だけではなく部活動をはじめとする課外活動にも打ち込むことができる環境である。さらに2年前に完成した景風館（中学校新校舎）内のプレゼンテーションエリアや多目的室、HR教室など開放的な学習環境が整っている。コモンズエリアなどIT整備の整った教室での学習環境もその魅力となっている。次年度4月の黎明館（高校新校舎）の完成により、さらに開放的な印象の学習環境が整い、生徒たちにより充実した学校生活を送ってもらうことができるようになるだろう。

「入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか」という問いに対しては、生徒のA・B合計結果が、高校で69.4%（昨年度68.8%）、中学校で69.6%（昨年度74.0%）であった。昨年度と比較すると高校はほぼ変わらず、中学校では4.4%下がっている。保護者の回答は高校では82.0%（昨年度81.4%）、中学校79.9%（昨年度81.3%）であり、昨年度より大きな変化が見られなかった。中学校に入学前の本校に対するイメージと、入学後の学校生活に差を感じている生徒がいるようである。入試説明会、学校説明会などを通じて本校の魅力を伝えるとともに実際の学校生活、生徒の様子も伝えていく必要がある。また、教員はこれまで以上に生徒・保護者とコミュニケーションをとり、毎日の学校生活の中で生徒が不安なく過ごすことができるように努めていく必要がある。

(2) 学校運営

① 私学の独自性

「教育方針・教育目標」について

本校の教育方針「正義を重んじ誠実をつらぬく」に対する理解については、生徒のA・B合計結果は、高校は83.1%（昨年度76.5%）、中学校は84.1%（昨年度83.5%）となっている。中学校は昨年と大きく変わらない結果であるが、高校は昨年よりも6.6%アップしており本校の教育方針の理解が進んでいると考えられる。また、保護者の理解度は高校では90.5%（昨年度91.2%）、中学校は93.0%（昨年度92.5%）と昨年度同様本校の教育方針・教育目標に対する理解度が高いことがわかる。今後も学校生活をとおして、生徒が本校の教育方針のもと健やかに成長できるよう、理解・実践を促していきたい。

② 危機管理

「避難訓練や安全対策」について

「避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか」という問いに対して、保護者のA・B合計結果は、高校で86.9%（昨年度79.6%）、中学校で85.4%（昨年度83.3%）であり、ともに高い数値であった。また「事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか」という問いに対して、生徒のA・B合計結果は高校で92.4%（昨年度84.0%）、中学校で91.8%（昨年度89.8%）であった。本校では例年、全学年対象の避難訓練、新入生（中学1年生、高校1年生）対象の防犯教室を実施している。また、登下校時の見守り・指導、交通機関遅延時の情報提供・対応なども日常的に行っている。また、高校の結果が昨年に比べ高くなったことは、今年度は高校校舎が工事中であるため、通常避難経路ではなく臨時の避難経路を確認するなど、より一層丁寧に対応したことが評価につながったと考えられる。

また、阪急電車の事故などによる運休、振替輸送に対しては、近隣の別路線駅までの引率などを行い、「災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていますか」に対しては、生徒のA・B合計結果は高校で86.8%、中学校で87.6%と高い結果となった。

（3）教育内容・生徒支援

① 知育

「学力向上のための組織的な取組」について

「学力向上の為に組織的な取組を行っていると思いませんか」という問いに対し、生徒のA・B合計結果は、高校で82.2%、中学校で87.0%、保護者の結果は高校で71.3%、中学校で71.6%となっている。同じ問いに対して教員の結果は、52.4%（昨年度70.5%）と低くなっている。「組織的な取組」を問うていることから、教員個人の取り組みや、個人の研究や研鑽についてはこの結果から図ることはできない。教員個人の努力・研鑽だけに終始することなく、教科・科目、あるいは学年の枠を超え、組織として子供たちの学力向上の工夫や実践が求められる。

「電子機器の利用」について

「iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いませんか」という問いに対

する保護者のA・B合計結果は高校では90.4%(昨年度88.5%)、中学校では85.6%(昨年度83.7%)と高い結果、かつ昨年度よりも高い結果となっている。本校では入学時より一人一台のタブレット(iPad)を使用しており、生徒・教員ともにMicrosoft Teamsや電子機器の活用が浸透してきている。また、Metamoji Classroomなども全学年にわたって活用し、より充実した学習活動を行っている。今年度より中学1年生の全HR教室で黒板に代わりホワイトボードが導入され、また次年度4月完成予定の高校新校舎(黎明館)のすべての教室にもホワイトボードが設置されることが予定されており、電子黒板などをより活用した多面的な授業を行うことができるようになるであろう。教員が電子機器をさらに活用し、その実践内容や情報を共有することによって、生徒一人ひとりが主体的に、かつ多面的に学ぶことができるようになるであろう。

「スローラーナーへの対応」について

「習熟がおくれた場合、補習授業や個人指導で適切なフォローアップをしてもらえる仕組みがあると感じていますか」という問いに対して、生徒のA・B合計結果が、高校で82.1%、中学校で78.4%となっている。また、保護者のA・B合計結果は、高校で76.2%、中学校で71.0%となっている。これに対して教員に対する「習熟が遅れた生徒へのフォローアップのための補習授業や個人指導を行っている」という問いに対しては、A・B合計結果が81.5%と生徒・保護者の結果に対して高い数値となっている。これは、スローラーナーへの支援の形の認識の差が考えられる。本校での学習サイクルは「授業→復習・宿題→定期考査→振り返り」となっており、補習授業や個人指導はこのうちの「復習・宿題」の一部を担うものである。補習授業や個人指導後には家庭学習が不可欠であり、この部分については家庭での協力を得、生徒自身での学習が重要であることを伝えていく必要がある。

「保護者との連携」について

「学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか」という項目について、保護者のA・B合計結果が高校で78.2%、中学校で77.5%であった。それに対し教員に対する「学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との連絡や懇談を緊密に行っている」という問いに対してはA・B合計結果が96.9%であった。また、生徒に対する「自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか」という問いに対しては、A・B合計結果が高校で83.1%、中学校で85.2%となっている。生徒の学習状況は、生徒本人と保護者の間での情報共有が行われていることに加え、学校からの連絡や懇談によるところも大きいと考えられる。これらのことから、保護者との連携は取れていると思われる。今後も保護者との連携を維持し、良好な関係を保つ努力を続ける必要がある。

② 徳育

「社会規範の理解とモラルの醸成」について

「生徒としてのマナーやモラル向上のための指導や取組が行われていると思いますか」という問いに対し、生徒のA・B合計結果が高校で88.2%、中学校で86.2%となっている。また、保護者に対する「学校や社会のルールを順守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行わ

れていると思われませんか」に対し、保護者のA・B合計結果が高校で86.2%、中学校で83.0%となっており、生徒・保護者ともに高い評価を得ている。「本校の生徒であるから」ではなく、生徒一人ひとりにこれから社会へ出ていく人として成長を促し、これまで以上にマナー・モラルの向上に努めたい。

「いじめへの対応」について

「いじめを許さない指導が積極的に行われていると思いますか」という問いに対し、生徒のA・Bの合計結果が高校で88.4%（昨年度82.0%）、中学校で83.6%（昨年度83.2%）であった。また、保護者に対する「いじめを許さない学校・学級づくりに積極的に取り組んでいると思われませんか」の問いに対しては、保護者のA・Bの合計結果が高校で88.3%、中学校で82.3%と概ね高い結果となっている。しかし、「いじめを許さない指導」に対して「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と高校で11.6%、中学校で16.4%の生徒が回答していた。また、保護者については高校で11.7%、中学校で17.7%がそのように回答しており看過できない。これらの意見にも耳を傾け、いじめを許さない学校づくり、いじめを許さない指導をさらに強化しなければならない。

「情報機器とのつきあい方」について

「情報機器の正しい使い方に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか」という設問に対し、生徒のA・B合計結果が高校で89.1%（昨年度84.4%）、中学校で87.2%（昨年度88.4%）、保護者が高校で84.0%（昨年度79.2%）、中学校で76.7%（昨年度78.6%）であった。高校は、生徒・保護者とも上昇しているが、中学校は低下している。

本校では図書情報部と人権教育部を中心に、各学年の生徒の成長、情報機器との使用状況に合わせて人権講演会やHRで、SNS・インターネットにおける人権侵害の危険を啓発する教育を行っている。近年、生徒間のトラブルの原因の多くが、SNSやインターネットに関わるものとなっており、人権侵害の問題だけではなく生徒の安心安全な学校生活が脅かされる一因となっている。これらのことから、生徒を取り巻くSNS・インターネット環境を教員が正しく把握するためにも教員の情報機器リテラシーを高め、生徒に対する指導方法を学ぶ必要がある。また、保護者とも連携をとり、学校・家庭の両面から生徒に正しく情報機器を使うことを指導していきたい。

③ 体育

「健康な身体づくり」について

保護者・生徒・教員すべてにおいてA・B合計結果が89.0%～95.1%と、高い数値となっている。保健体育科の正課授業での基本的な体力・身体づくり、また中学1年生から高校2年生の授業で行われている水泳の授業などの成果であると思われる。加えて部活動（運動部）の盛んな活動もあり、保護者・生徒からの高い評価につながっていると考えられる。

④ 学校生活

「学習や部活動の施設・設備」について

高校・中学校の保護者・生徒のA・B合計結果が概ね87.0%~90.0%（昨年度82.0%~94.0%）と高い評価であった。2023年12月に中学校新校舎景風館が完成し、2026年4月には高校新校舎黎明館が完成することもあり、生徒・保護者の満足感・期待感から高い数値となったと考えられる。これに対して教員のA・Bの合計結果は50.8%にとどまった。高校新校舎が完成することで、施設面が今以上に拡充されるため教員にとってもより充実した環境で教育活動に取り組むことができるようになると思われる。これにより、生徒の学習や部活動のさらなる充実が期待される。

「生徒会・委員会活動の推進」について

学校行事に対する生徒会・各委員会活動について、A・B合計結果が高校生は93.2%、中学生は94.1%、教員は89.3%と高い結果となっている。高校においては生徒会主体で行う行事である体育祭、関一祭などの充実が評価されたのではないだろうか。体育祭ではコロナ禍により縮小された規模（競技数・開催時間など）がコロナ禍以前とほぼ同じ程度まで戻され、関一祭では生徒たちが出店する飲食屋台での調理に関する制約（コロナ禍以降は飲食屋台での加熱調理を禁止）がなくなるなど、高校生徒会・委員会主導で行われた行事に対する評価であると思われる。中学校においては、球技大会や体育大会、合唱コンクールの実施、これらの行事に対する各クラスの団結、学年の枠を超えた縦割りチームでの練習・団結などを通じ生徒の満足感を上げたと思われる。

「学校行事(宿泊行事・校外学習)」について

「宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか」という問いに対し、生徒のA・B合計結果は中学校で95.9%（昨年95.6%）、高校で84.9%（昨年76.8%）であった。中学校は昨年と同程度であったのに対し、高校では、8.1%も上昇した。今年度は、校外学習として関西万博に行ったことが影響しているのではないかと考えられる。教員のA・B合計結果は83.1%、保護者は中学校で92.3%、高校で91.4%であったことから、宿泊行事や校外学習が、生徒の自主性・自発性を高めていると評価している。

「情操教育」について

中学生・保護者に対する「芸術鑑賞会の内容は満足のものでしたか」「芸術鑑賞会や美術鑑賞会は、お子様の情操か養育に役立っていると思われませんか」の問いに対し、生徒のA・Bの合計結果は92.5%、保護者は94.3%であった。教員のA・B合計結果は、90.8%とかなり高評価であった。高校生・保護者に対する「狂言・文楽鑑賞会は、古典芸能に触れるいい機会だったと思いませんか」「古典芸能鑑賞はお子様の情操教育に役立っていると思われませんか」の問いに対して、生徒のA・Bの合計結果は88.5%と高評価であったのに対し、保護者では78.7%となった。中学校では保護者も芸術鑑賞会に参加する機会があるが、高校の古典芸能鑑賞会には保護者の参加ができず、行事の実態をご存じない方も多くいらっしゃるため、このような結果になったと考えられる。高校での古典芸能鑑賞会は、自国の文化に関する教養を身につけるためにも、次年度以降も学校行事として継続して開催されるべきであると考えられる。

「教員に対する相談」について

保護者に対する「勉強や学校生活について、お子様から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思えますか」の問いに対して、A・B合計結果は高校で81.1%、中学校で71.4%であった。生徒に対する「勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか」の問いに対する結果は、高校で87.0%、中学校で79.8%となった。それに対し、教員のA・B合計結果93.9%を考えると生徒・保護者と教員間に大きな隔たりがあると言わざるを得ない。この結果を真摯に受け止め、生徒・保護者との受け止め方の違いを考慮しつつ、教員はこれまで以上に誠実に向き合う努力をする必要がある。

「人権を配慮した生徒との接し方」について

「先生（教員）の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか」という問いに対し、高校・中学校の保護者のA・B合計結果はそれぞれ86.1%と84.5%、生徒のA・B合計結果は、高校で87.8%、中学校で85.3%であったが、教員のA・B合計結果は92.3%となった。教員は、人権に十分に配慮し指導をしているつもりであってもそのように受け止めていない生徒がいるのであろう。生徒・保護者と教員間では隔たりがあるため、より一層中学生・高校生の人権を十分に配慮した言動・指導を心掛けるべきだと思われる。

⑤ 学校間連携

「中高大連携事業の実践」について

「高大の教育連携が積極的に行われていると思いますか」の問いに対し、高校の保護者A・B合計結果は86.1%、生徒は92.1%と高評価であった。一方で、「中大・中高の教育連携が積極的に行われていると思いますか」という問いに対し、中学校の保護者A・B合計結果は71.8%、生徒は84.4%であった。教員のA・B合計結果は67.7%であった。中学校の生徒・保護者の認識よりも高校の生徒・保護者の認識の方が比較的高い。それは、高大連携プログラムやセミナー、セミナージャンボリーなどが多く開催され、頻繁に案内されるので、生徒・保護者の意識も自ずと高くなっていると思われる。その一方、中学生を対象とする中大連携のプログラムやセミナーが少ないため、上記のような結果になったと推測される。中大だけでなく中高連携のプログラムなどを計画し、中学生が希望を持って高校へ、さらに大学へ進学できるよう、さまざまな機会を増やしていくことも必要である。

「進路情報の提供」について

「進路（お子様の進路）に関する情報は、提供されていると思いますか」という問いに対し、高校の保護者・生徒のA・B合計結果は、保護者が89.2%、生徒が94.4%であった。中学校の保護者・生徒のA・B合計結果は、保護者が79.5%、生徒が90.8%であった。中学校においては、関大一高へ進学する生徒が多く、一高の情報は得られるが、一高以外の進路を選ぶ生徒や保護者にとっては情報不足であるのが現状である。生徒や保護者がより多くの情報から自分に合う進路選択が

できるよう、改善していく必要がある。高校においては、生徒・保護者の肯定的な回答の割合が非常に高い結果となっている。高校では関西大学への進学を希望する多くの生徒に加え、他大学進学を希望する生徒もいるため、すべての生徒に今後も適時的確に情報提供を行っていききたい。

⑥ カウンセリング

「カウンセリング体制」について

「お子様に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていますか」「悩みが生じたときに、教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていますか」の問いに対し、高校の保護者・生徒のA・B合計結果は、保護者が84.0%、生徒が83.5%であった。中学の保護者・生徒のA・B合計結果は、保護者が83.8%、生徒が76.9%であった。カウンセリングがネット上で予約できるようになっており、教員、養護教諭を経ずとも空き日や空き時間が分かり、予約をしやすいことが高評価につながっていると考えられる。しかし、教員のA・B合計結果が92.3%であったことを考えると、高校生・中学生・保護者が現在のカウンセリング体制に満足しているわけではないことがわかる。

また、中学生から高校生にかけての生徒は多感な時期にあり、多くの友人と学校生活を共にすることに対する不安や悩みが多いと考えられる。そんな中、カウンセリングを受けることに対して抵抗を感じる生徒もいるようで、相談相手としての教員の果たす役割も重要であると考えられる。

(4) 研修

「校外外における教員研修」について

「先生は新しい教材を取り入れたり、新しい情報を収集したりするなど、指導力の向上に努めようとしていると思いますか」という設問に対する生徒のA・B合計結果は、中学校が90.0%、高校が87.8%で、「本校の教員は、教員の資質および指導力の向上に努めようとしていると思いますか」という設問に対する保護者のA・B合計結果は、中学校が79.9%、高校が80.0%であり、保護者にも概ね高い評価を得ていると思われる。

教員対象の「本校は、教員の資質向上指導力のための校外外の研修体制が充実している」という設問に対するA・B合計結果は76.9%であった。本校では、全ての教員が、日々授業準備・生徒の指導・校務・保護者対応・部活動など多岐にわたる膨大な業務に追われ、実に多忙であり、校外での研修に参加することが容易ではない。そのため、校内の研修をより充実したものにできるよう、教科だけでなく各部も連携を取り、教員研修会を行っている。また、2026年4月に高校新校舎が完成することに伴い、これまで以上にICT機器の充実が予想される。これらの機器の使用についても教員はより一層学び、効果的に使用できるようになることが大切である。今後はさらに、個々の教員が学んだことを教員間で共有し、互いにスキルアップできるような体制を整えていく必要がある。

(5) その他

「食堂」について

「食堂は、利用しやすいですか」に対する生徒のA・B合計結果は、高校が88.5%、中学校が88.8%

となった。保護者のA・B合計結果は、高校が74.0%、中学校が68.4%であったことから生徒と保護者の回答の間に大きな隔たりがみられる。このアンケートからは、保護者の肯定的な回答が伸び悩んだ具体的な理由は見えないが、実際に食堂を利用する生徒たちと、食堂を利用する機会がほとんどない保護者とは、食堂に対する意識が異なるのであろう。今後は、メニューの改善など、生徒・保護者ともに使用しやすい食堂の在り方を考えていく必要があると思われる。

「保護者ポータルサイト」について

「欠席連絡やお知らせの配信など、保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか」の問いに対し、保護者のA・B合計結果は、高校で93.7%、中学校で92.1%であり、「保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか」という教員に対する問いの結果は、A・B合計で92.3%と高い満足度が伺える。今後も、より一層効率的な欠席確認・連絡ツールとして活用されることが期待できる。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

第一中学校保護者代表としてPTA会長竹田哲之助氏、第一高等学校保護者代表として教育後援会会長坂本光平氏、多数の生徒の進学先である関西大学の教学を代表して関西大学人間健康学部教授安田忠典先生に今回のアンケート結果や自己評価に関するご意見を頂戴した。今後の本校教育にとって貴重なご意見、ご要望を頂戴することができた。以下、それらのご意見を記述する。

【関西大学第一中学校 PTA会長 竹田哲之助氏】

関西大学第一高等学校・第一中学校の教職員の皆様には、日々生徒一人ひとりと真摯に向き合い、ご指導いただいておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。また、保護者への丁寧なご連絡や情報共有を通じて、子どもたちが安心して学べる環境を整えていただいておりますことにも、厚く御礼申し上げます。

学校評価アンケートは、教職員だけでなく、生徒、保護者それぞれの率直な声が寄せられた大切な対話の機会であると受け止めております。子どもたち自身の実感や思いが数字として表れていることの重みを大切にしながら、その声を素直に受け止め、学校と家庭、そして生徒が同じ方向を向き、ともに成長していくための指針として活かしていきたいと考えております。

アンケート結果からは、生徒の学校生活の充実度が九割を超え、また保護者の多くが「入学させて良かった」と感じていることが示されており、本校への厚い信頼が伺えます。学校行事や日常の学校生活に対する評価も非常に高く、生徒が主体的に学校生活を送っている様子が数字からも読み取れました。加えて、学校からの情報発信やポータルサイトの活用など、保護者との情報共有についても高い評価が見られます。

しかしながら、回答率が必ずしも高いとは言えない現状については、今後の課題として受け止める必要があります。声を届けていない層の存在をどう受け止めるかは、学校とPTA双方の課題であります。また、「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」という回答に目を向けると、いじめ対応、相談体制、人権配慮、保護者との連携などに一定割合の慎重な声が存在しています。教員と生

徒・保護者との間に見られる認識の差は、より良い学校づくりに向けた、成長の余白であると受け止めたいと思います。

AI や SNS の急速な進展により、生徒を取り巻く環境は複雑化しています。ICT の活用は可能性であると同時に責任でもあります。情報リテラシーの育成や、思春期特有の悩みに寄り添うカウンセリング体制のさらなる充実が求められます。一貫校としての強みを活かし、中高大を見通した組織的な学力向上と連携強化が一層深化することを期待いたします。

高い満足度に安住することなく、少数の声にも誠実に向き合い続ける姿勢こそが、本校の未来を支える力になると確信しております。PTA としても、対話を大切にしながら、学校と家庭が同じ方向を向き続けられるよう、その役割をより確かなものとして、これからも学校とともに歩んでまいります。

【関西大学第一高等学校 教育後援会会長 坂本光平氏】

まずは、関西大学第一高等学校・中学校の教職員の皆様の日々のご指導・ご努力に保護者を代表いたしまして、心より感謝を申し上げます。

今年度の関西大学第一高等学校学校評価アンケートの結果につきまして、コメントさせていただきます。

【高評価の項目】

① 充実した学校生活

生徒・保護者アンケートにおいて、92%以上が満足しているという結果を拝見し、一保護者としても大変嬉しく感じております。伝統ある関大一高を継承しながら、現代教育にも対応できている結果であると思います。これも偏に、学校全体及び教職員の皆様の日々のご努力の賜物であると考えます。

② iPad や電子機器を使用した授業

生徒・保護者アンケートにおいて、90%以上が満足しており、学習の効率化はもちろんのこと、生徒の視覚的な理解などを深められている結果だと思えます。今後も情報電子機器の正しい使い方をご指導していただきながら、更なる学びの活性化に期待します。

③ 保護者ポータルサイトの活用

保護者・教員アンケートにおいて、92%以上が満足しており、欠席連絡等の簡素化や学校からの情報配信のスピード化が高評価を得ている結果だと考えられます。引き続き、学校と保護者を繋ぐツールとして最大限に有効活用していただきたいと思えます。

【改善を期待する項目】

① 学力向上のための組織的な取り組み

教員・保護者・生徒ともに、少し低い評価結果となっております。また併せて、類似のアンケー

ト項目である「習熟が遅れた生徒へのフォローアップ」も改善の余地がある結果となっています。補習授業や個別指導はもちろんのこと、学校全体として学習支援の体質強化を望みます。生徒が希望する進路へ進んでいけるよう、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

② 学習や部活動の施設・設備の充実

教員アンケートにおいて、約 34%が充実していないとの回答です。

2023 年に景風館の竣工、2026 年には黎明館が竣工します。学習においての施設・設備は着実に充実していく段階と思いますが、部活動においての施設・設備は改善の余地があるかと感じます。学習向上のための組織的な取り組みと部活動の施設・設備の充実を推進していただくことにより、一人でも多くの文武両立を目指す関大一高生を育てていただければ嬉しく思います。

【関西大学人間健康学部 教授 安田忠典 先生】

(1) 総評

本年度の学校評価アンケートの結果から、貴校の教育活動全般に対する満足度は引き続き極めて高い水準を維持していることがよく読み取れました。以下、項目ごとに述べていきたいと思います。

まず、「充実した学校生活を送っている」との回答は、高校生 92.7%、中学生 93.7%であり、また「本校に入学させて良かった」との回答は高校保護者 94.4%、中学校保護者 91.7%と、いずれも 90%を超える結果となっております。これらの数値は、貴校が安定した教育環境を提供できていることを示す重要な指標であります。

貴校は関西大学の併設校として、中高大の接続を視野に入れた教育活動を展開しており、進路面での安心感が高い評価につながっていると考えられます。また、景風館の完成及び新校舎黎明館の整備といった教育環境の充実、ICT 機器の活用、学校行事の活性化などが、生徒の満足度向上に寄与しているものと推察されます。総じて、貴校の教育活動はこれまで同様、安定的な社会的信頼を維持していると評価できると思います。

(2) 伝統の強み

生徒会活動および学校行事、宿泊行事・校外学習等が高い評価を得ていることから、体験的学習の価値が再認識されたことが読み取れます。多くの学校園でコロナ禍によって失われてしまった体験学習の機会が、貴校ではほぼ問題なく速やかに回復されたのは、ポジティブで活動的な生徒を育ててきた伝統によるところが大きいと思われまます。このことは、我々が外部からみたときに感じる「一中・一高らしさ」の源泉であると言えるでしょう。先生方と生徒たちの距離の近さや、ともに過ごす時間の質の高さといった強みを、ぜひ今後も伸ばしていただきたいと思います。

また、電子機器の活用については、保護者の肯定的回答が高校 90.4%、中学校 85.6%と高く、教育 DX の取り組みが一定の成果を上げていることが伺えます。さらに、施設・設備に対する生徒及び保護者の評価は概ね 87%以上と高く、教育環境整備への投資が学校ブランド価値の向上に直結していることが確認できます。

(3) 重点的に取り組むべき課題

他にもポータルサイトの有効性など安定的に高い評価を維持する一方で、いくつかの領域において認識差や課題が顕在化しているように見えます。数字を拾いながら確かめてみたいと思います。まず、教員と生徒・保護者の認識差が目立つ項目です。例えば、学力向上の組織的取組について、教員の肯定的回答は52.4%にとどまり、昨年度から大きく低下しています。一方、生徒は80%台、保護者は70%台の高評価を示しています。これは、教員自身が「組織的な学力向上体制」について課題意識を有していることを示していると考えられます。個々の教員の努力は一定水準に達しているものの、教科横断的連携、データ活用、指導法共有といった組織的枠組みの再構築が必要ではないでしょうか。

つぎに、相談体制について、教員の肯定的回答は93.9%と高水準である一方、生徒は高校87.0%・中学校79.8%、保護者は高校81.1%・中学校71.4%と差が見られます。この差は、「体制が存在すること」と「安心して相談できると感じていること」との間の乖離を示していると言えるのではないのでしょうか。これまで以上の、相談体制の可視化、日常的な関係構築、情報発信の改善等が求められているのかもしれませんが。

もう一つ気になるのは、中学校におけるいじめの項目です。「いじめを許さない指導」に対する否定的回答が、中学生16.4%、中学校保護者17.7%と一定数存在しています。いじめの問題は、少数意見であっても看過できない割合であり、未然防止・早期発見・迅速対応の体制強化、教員研修の充実、相談窓口の周知徹底が必要であると思われまます。

また、大学との連携について、高校に比べて中学校は低値になっています。もちろん、高校ほど身近でない大学との接続は重要性という意味では高くはないかもしれませんが、貴校は関西大学との連携を強みとする教育機関であることから、中学生段階でのキャリア意識醸成及び大学接続プログラムの拡充について、両方で検討を進められるとよいのではないかと思います。

(4) まとめ

今回のアンケート結果から、伝統と関西大学との連携に裏付けられた高い満足度と、新校舎等、教育環境整備とICT活用による将来性、そして何よりも行事・自治活動・体験型学習等を通じた生徒の主体性の育成などが、貴校の一貫した強みになっていることが浮かび上がっていると思います。

一方で、以下の二点は早急に取り組むべき課題であります。一点は教員の組織的取組への課題意識の醸成と具体的な施策。これについては、教員間の実践共有や研修の高度化といったことが考えられるかと思えます。もう一点は、いくつかの回答に見られた生徒・保護者との認識差の解消、これは粘り強い働きが必要と思われまますが、磯和校長のリーダーシップで進めていただければと存じます。特に、いじめ問題については関連する調査内容を含めて芽のうちに摘んでおかれるのがよいと思料します。

以上、今期もまた厚かましくも意見を述べさせていただきました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

6 校長の意見書

関西大学第一高等学校・第一中学校

校長 磯和雅敏

重点目標①「基礎学力ならびに幅広い教養を身につける」について、各教科における基礎・基本の徹底とともに、思考力・判断力・表現力の育成を意識した授業を推進しています。特に、日々の小テストや課題提出の徹底、補習等の充実により、学習内容の定着を図る取り組みを継続しております。また、ICTの活用や探究学習により、生徒が主体的に学び、知識を関連付けて理解する力の向上にも努めております。一方で、学力の向上のための組織的な取り組みについて、教員の結果が昨年度より低下しているのは課題として明らかになりました。今後は、課題を改善し個別最適な学習支援を一層充実させるとともに、幅広い知識と豊かな人間性を兼ね備えた生徒の育成に取り組んでまいります。

重点目標②「豊かな人間性を育成する」については、本校が重視する人格形成の中核として、日常の学校生活全体を通じた指導に取り組んでまいりました。特に、挨拶の励行や基本的な生活習慣の確立、他者を思いやる態度の育成、マナー・モラルの向上を柱とし、全校集会や各種講演会、学級活動、学校行事、クラブ活動など多様な場面で生徒の成長を支えています。その結果、生徒同士の関係性は概ね良好であり、落ち着いた学習環境の維持につながっているものと評価しています。

重点目標③「より良い授業を追求する」については、生徒の学びの質を高めるため、教員一人ひとりが授業力の向上に継続的に取り組んでまいりました。具体的には、外部講師による教科内での研修会や教科内外での授業研究を通じて指導方法の改善を図ります。2025年度はモラロジー道徳教育財団主催の道徳教育研究会にも参加いたしました。また、ICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業づくりを推進していますが、高校新校舎黎明館の完成に伴い、これまで以上にICT機器の充実が予想されます。これらの機器の使用についても教員はより一層学び、効果的に使用できるように引き続き努力してまいります。

重点目標④「学校と家庭の連携を強固にする」については、懇親会や個人懇談、学校行事のHOでの報告、ICTを活用した連絡体制の整備を進めることで、迅速かつ丁寧な情報発信を心がけております。その結果、教員側の満足度は約97%と高い評価を得ており、組織的な取り組みが一定の成果を上げているものと認識しております。一方で、学校からの連絡や懇談は緊密に行われているかについて、保護者満足度は約78%にとどまっており、学校の取り組みが十分に伝わりきっていない側面や、保護者の多様なニーズに応えきれていない課題が明らかとなりました。この差を真摯に受け止め、今後は一方向の情報提供にとどまらず、意見聴取の機会を充実させるなど、双方向的なコミュニケーションの強化を図ってまいります。

2025 年度の学校評価をとおして、本校の教育活動が概ね良好に展開されていることを確認するとともに、今後に向けた課題も明確となりました。各重点目標に基づく取り組みは一定の成果を上げており、生徒の学力の向上や人間的成長、落ち着いた学校生活の維持に結びついているものと評価しております。一方で、学力の定着の個人差や授業のさらなる質の向上、学校と家庭の連携強化など、引き続き取り組むべき課題も認識しております。これらの課題に対しては、教職員が一丸となり、改善してまいります。また、生徒一人ひとりに寄り添い、その可能性を最大限に引き出す教育の実現に向け、不断の努力を重ねてまいります。今後も保護者との連携を一層深めながら、信頼される学校づくりを推進してまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

7 アンケート結果 資料

- 資料 1 2025 年度 学校評価集計結果表（教員）
- 資料 2 2025 年度 学校評価集計結果表（保護者：高校）
- 資料 3 2025 年度 学校評価集計結果表（保護者：中学校）
- 資料 4 2025 年度 学校評価集計結果表（生徒：高校）
- 資料 5 2025 年度 学校評価集計結果表（生徒：中学）

以 上

2025年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一高等学校・中学校

集計対象	教員	有効回答数	65
------	----	-------	----

No	設問文	回答数				満足度グラフ		
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない			
1	本校の生徒は充実した学校生活を送っている。	24	38	3	0	36.9%	58.5%	5%
2	本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	16	46	3	0	24.6%	70.8%	5%
3	学校宣伝（HP・学校パンフ・説明会など）は、本校の教育内容を適切に伝えている。	27	34	4	0	41.5%	52.3%	6.2%
4	本校の教育方針・教育目標は、教職員・保護者などの関係者が理解している。	12	39	13	1	18.5%	60.0%	20.0% 2%
5	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	5	23	31	6	7.7%	35.4%	47.7% 9.2%
6	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	26	33	5	1	40.0%	50.8%	7.7%
7	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられている。	15	33	14	3	23.1%	50.8%	21.5%
8	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	4	30	26	5	6.2%	46.2%	40.0%
9	習熟が遅れた生徒へのフォローアップのための補習授業や個人指導を行っている。	13	40	11	1	20.0%	61.5%	16.9% 2%
10	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との連絡や懇談を緊密に行っている。	26	37	2	0	40.0%	56.9%	3.0%
11	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組を行っている。	19	33	12	1	29.2%	50.8%	18.5%
12	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようして早期発見に努める体制が整い、学校組織として対応できている。	26	37	2	0	40.0%	56.9%	3.1%
13	情報機器の正しい使い方について、適切な指導を行っている。	17	32	14	2	26.2%	49.2%	22%
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	23	38	3	1	35.4%	58.5%	4.6% 2%
15	学習や部活動の施設・設備が充実している。	12	21	22	10	18.5%	32.3%	34%
16	関一祭や体育大会などの学校行事において、生徒会や各委員会は積極的に活動している。	28	30	5	2	43.1%	46.2%	7.7% 3%
17	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っている。	29	25	10	1	44.6%	38.5%	15.4%
18	本校の芸術・美術鑑賞は、充実している。	33	26	6	0	50.8%	40.0%	9.2%
19	勉強や学校生活について、生徒からの質問や相談を受けやすい関係を作っている。	23	38	4	0	35.4%	58.5%	6.2%
20	生徒の人権に配慮した指導を行っている。	19	41	5	0	29.2%	63.1%	7.7%
21	高大、中大、中高の教育連携が積極的に行われている。	13	31	18	3	20.0%	47.7%	28%
22	進路に関する情報は、生徒に提供されている。	25	33	5	2	38.5%	50.8%	7.7% 3%
23	生徒・保護者の悩みに対して、教員による相談体制やカウンセリング体制が整っている。	21	39	5	0	32.3%	60.0%	7.7%
24	本校は、教員の資質向上指導力向上のための校内外の研修体制が充実している。	14	36	14	1	21.5%	55.4%	21.5%
25	保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか。	31	29	5	0	47.7%	44.6%	7.7%

2025年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一高等学校

集計対象		保護者				有効回答数				625			
No	設問文	回答数				満足度グラフ							
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない								
1	お子様は、充実した学校生活を送っていると思われませんか。	326	260	35	4	52.2%	41.6%	5.6%					
2	保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。	336	254	32	3	53.8%	40.6%	5.1%	0%				
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	176	336	103	10	28.2%	53.8%	16.5%	2%				
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	202	364	56	3	32.3%	58.2%	9.0%	0%				
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	146	397	74	8	23.4%	63.5%	11.8%	1%				
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていると思われませんか。	130	359	118	18	20.8%	57.4%	18.9%	3%				
7	学力向上のための、組織的な取組を行っていると思われませんか。	144	302	156	23	23.0%	48.3%	25.0%	4%				
8	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	263	302	50	10	42.1%	48.3%	8.0%	2%				
9	習熟が遅れた生徒へのフォローアップのために補習授業や個人指導の取組が行われていると思われませんか。	161	315	130	19	25.8%	50.4%	20.8%	3%				
10	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	172	317	122	14	27.5%	50.7%	19.5%	2%				
11	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	200	339	76	10	32.0%	54.2%	12.2%	2%				
12	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	185	367	59	14	29.6%	58.7%	9.4%	2%				
13	情報機器の正しい使い方に関する指導が適切に行われていると思われませんか。	154	371	89	11	24.6%	59.4%	14.2%	2%				
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	200	356	66	3	32.0%	57.0%	10.6%	0%				
15	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	264	285	66	10	42.2%	45.6%	10.6%	2%				
16	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、お子様の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	236	335	48	6	37.8%	53.6%	7.7%	1%				
17	古典芸能鑑賞は、お子様の情操教育に役立っていると思われませんか。	183	309	123	10	29.3%	49.4%	19.7%	2%				
18	勉強や学校生活について、お子様から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	177	330	104	14	28.3%	52.8%	16.6%	2%				
19	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	191	347	67	20	30.6%	55.5%	10.7%	3%				
20	高大の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	241	297	80	7	38.6%	47.5%	12.8%	1%				
21	お子様の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	254	304	60	7	40.6%	48.6%	9.6%	1%				
22	お子様に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思われませんか。	169	356	88	12	27.0%	57.0%	14.1%	2%				
23	本校の教員は、教員の資質及び指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	166	334	103	22	26.6%	53.4%	16.5%	4%				
24	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	164	299	141	21	26.2%	47.8%	22.6%	3%				
25	欠席連絡やお知らせの配信など、保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか。	324	262	35	4	51.8%	41.9%	5.6%	1%				

2025年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一中学校

集計対象 保護者

有効回答数 458

No	設問文	回答数				満足度グラフ			
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない				
1	お子様は、充実した学校生活を送っていると思われませんか。	246	177	29	6	53.7%	38.6%	6.3%	1%
2	保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。	247	173	32	6	53.9%	37.8%	7%	1%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	131	235	76	16	28.6%	51.3%	16.6%	3%
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	175	251	30	2	38.2%	54.8%	6.6%	0%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	129	262	63	4	28.2%	57.2%	13.8%	1%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていると思われませんか。	121	236	93	8	26.4%	51.5%	20.3%	2%
7	学力向上のための、組織的な取組を行っていると思われませんか。	104	224	114	16	22.7%	48.9%	24.9%	3%
8	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	149	243	56	10	32.5%	53.1%	12.2%	2%
9	習熟が遅れた生徒へのフォローアップのために補習授業や個人指導の取組が行われていると思われませんか。	108	217	112	21	23.6%	47.4%	24.5%	5%
10	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	129	226	90	13	28.2%	49.3%	19.7%	3%
11	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	159	221	67	11	34.7%	48.3%	14.6%	2%
12	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	128	249	70	11	27.9%	54.4%	15.3%	2%
13	情報機器の正しい使い方に関する指導が適切に行われていると思われませんか。	113	238	86	21	24.7%	52.0%	18.8%	5%
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	151	260	42	5	33.0%	56.8%	9.2%	1%
15	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	213	184	49	12	46.5%	40.2%	10.7%	3%
16	宿泊行事や校外学習など、校外での活動・学習は、お子様の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	247	176	32	3	53.9%	38.4%	7.0%	1%
17	芸術鑑賞会や美術鑑賞会は、お子様の情操教育に役立っていると思われませんか。	250	182	23	3	54.6%	39.7%	5%	1%
18	勉強や学校生活について、お子様から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	105	222	115	16	22.9%	48.5%	25%	3%
19	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	149	238	51	20	32.5%	52.0%	11.1%	4%
20	中大、中高の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	104	225	114	15	22.7%	49.1%	24.9%	3%
21	お子様の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	114	250	85	9	24.9%	54.6%	18.6%	2%
22	お子様に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思われませんか。	120	264	63	11	26.2%	57.6%	13.8%	2%
23	本校の教員は、教員の資質及び指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	115	251	73	19	25.1%	54.8%	15.9%	4%
24	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	118	195	128	17	25.8%	42.6%	27.9%	4%
25	欠席連絡やお知らせの配信など、保護者ポータルサイトを有効に活用できていると思われませんか。	234	188	32	4	51.1%	41.0%	7.0%	1%

2025年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一高等学校

集計対象	生徒
------	----

有効回答数	947
-------	-----

No	設問文	回答数				満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない	
1	充実した学校生活を送っていると感じていますか。	523	355	55	14	55.2% 37.5% 6.1%
2	本校に入学して良かったと思いますか。	462	400	64	21	48.8% 42.2% 6.8% 2%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	236	421	219	71	24.9% 44.5% 23.1% 7.5%
4	本校の教育方針を理解していますか。	309	478	123	37	32.6% 50.5% 13.0% 3.9%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	443	432	60	12	46.8% 45.6% 6.3% 1%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていますか。	355	467	106	19	37.5% 49.3% 11.2% 2%
7	学力向上のために組織的な取組を行っていると思いますか。	324	455	138	30	34.2% 48.0% 14.6% 3%
8	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	633	252	48	14	66.8% 26.6% 5.1%
9	習熟が遅れた場合、補習授業や個人指導で適切なフォローアップをもらえる仕組みがあると感じていますか。	352	425	139	31	37.2% 44.9% 14.7% 3%
10	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	408	379	129	31	43.1% 40.0% 13.6% 3%
11	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導や取組が行われていると思いますか。	435	401	84	27	45.9% 42.3% 8.9% 3%
12	いじめを許さない指導が積極的に行われていると思いますか。	452	385	83	27	47.7% 40.7% 8.8% 3%
13	情報機器の正しい使い方に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	414	430	81	22	43.7% 45.4% 8.6% 2%
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	480	399	48	20	50.7% 42.1% 5.1% 2%
15	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	503	337	81	26	53.1% 35.6% 8.6% 3%
16	体育祭、関一祭において、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	578	305	53	11	61.0% 32.2% 5.6%
17	宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか。	461	343	106	37	48.7% 36.2% 11% 4%
18	狂言・文楽鑑賞会は、古典芸能に触れるいい機会だったと思いますか。	497	341	72	37	52.5% 36.0% 7.6% 3.9%
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	422	402	95	28	44.6% 42.4% 10.0% 3%
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	418	414	79	36	44.1% 43.7% 8.3% 4%
21	高大の教育連携が積極的に行われていると思いますか。	449	423	58	17	47.4% 44.7% 6.1% 2%
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	546	348	41	12	57.7% 36.7% 4.3% 1%
23	悩みが生じたときに、教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	356	435	123	33	37.6% 45.9% 13.0% 3%
24	先生は新しい教材を取り入れたり、新しい情報を収集したりするなど、指導力の向上に努めようとしていると思いますか。	409	422	94	22	43.2% 44.6% 9.9% 2%
25	食堂は、利用しやすいですか。	516	322	86	23	54.5% 34.0% 9.1% 2.4%

2025年度 学校評価 集計結果表

関西大学第一中学校

集計対象	生徒
------	----

有効回答数	598
-------	-----

No	設問文	回答数				満足度グラフ
		4. あてはまる	3. ややあてはまる	2. あまりあてはまらない	1. あてはまらない	
1	充実した学校生活を送っていると感じていますか。	315	245	32	6	52.7% 41.0% 5.1%
2	本校に入学して良かったと思いますか。	326	233	31	8	54.5% 39.0% 5.2%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージどおりでしたか。	102	314	143	39	17.1% 52.5% 23.9% 6.5%
4	本校の教育方針を理解していますか。	182	321	77	18	30.4% 53.7% 12.9% 3%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	302	247	43	6	50.5% 41.3% 7.2%
6	災害や事件・事故などにより帰宅困難になったとき、安全確認のための手段が講じられていますか。	252	272	54	20	42.1% 45.5% 9.0% 3%
7	学力向上のために組織的な取組を行っていると思いますか。	211	309	68	10	35.3% 51.7% 11.4% 2%
8	iPadなどの電子機器は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	372	181	39	6	62.2% 30.3% 6.5%
9	習熟が遅れた場合、補習授業や個人指導で適切なフォローアップをもらえる仕組みがあると感じていますか。	192	277	97	32	32.1% 46.3% 16.2% 5%
10	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	267	243	64	24	44.6% 40.6% 10.7% 4%
11	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導や取組が行われていると思いますか。	249	267	64	18	41.6% 44.6% 10.7% 3%
12	いじめを許さない指導が積極的に行われていると思いますか。	299	201	78	20	50.0% 33.6% 13.0% 3%
13	情報機器の正しい使い方に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	245	276	65	12	41.0% 46.2% 10.9% 2%
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	328	241	21	8	54.8% 40.3% 3.5%
15	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	334	204	49	11	55.9% 34.1% 8% 2%
16	球技大会、体育大会、合唱コンクールにおいて、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	371	192	31	4	62.0% 32.1% 5.2%
17	宿泊行事や校外学習など、校外での活動、学習は充実していると思いますか。	416	157	19	6	69.6% 26.3% 3.1%
18	芸術鑑賞会の内容は満足のいくものでしたか。	342	211	36	9	57.2% 35.3% 6% 2%
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	192	285	101	20	32.1% 47.7% 16.9% 3%
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	240	270	59	29	40.1% 45.2% 9.9% 5%
21	中大、中高の教育連携が積極的に行われていると思いますか。	240	265	74	19	40.1% 44.3% 12.4% 3%
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	292	251	43	12	48.8% 42.0% 7.2% 2%
23	悩みが生じたときに、教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	171	289	107	31	28.6% 48.3% 17.9% 5%
24	先生は新しい教材を取り入れたり、新しい情報を収集したりするなど、指導力の向上に努めようとしていると思いますか。	265	273	42	18	44.3% 45.7% 7.0% 8.0%
25	食堂は、利用しやすいですか。	396	135	55	12	66.2% 22.6% 9.2% 2%